

学びの 広場

百人一首かるた同好会



私達がかるた遊びに使う「小倉百人一首」というのは、鎌倉前期の歌人藤原定家が万葉集から新古今集まで六百年程の歌人の中から百人の和歌を一首ずつ選んだもので、長い歴史があります。仙南のかるた会は、現町長のお祖父様の松田誠三村長が始められたとのことで四十年以上になるそうです。

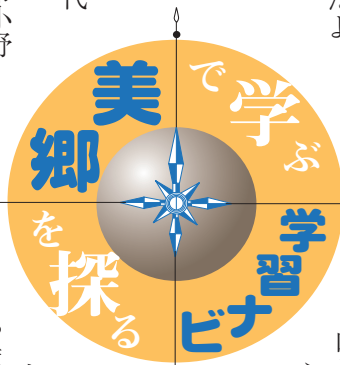
以前は年一回、正月だけの行事だったようですが、十六年前から「新春かるた競技会」となつて、練習会を月一回、第三日曜日の午後一時半から四時半まで行っています。会員は現在九名、五十代から九十代まで平均年齢七十六歳と高齢です。かるた遊びは、子どもからお年寄りまで楽しめるので昔は多くの家庭で遊ばれたようですが、ここで私の腰折れを一首。

「吾が母は躬恒の歌を誦じつつ針探しき」て唄語りぬ。(唄は九十代の会員) 凡河内躬恒の歌は29番、心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる

白菊の花”で、遠い昔の記憶がはつきりと残っているわけです。子ども時代に覚えたことは忘れません。ところで、今年六月十一日、湯沢市小野の小町まつり協賛「秋田県交流かるた会」に招かれ六人の会員が参加しました。全県といっても参加したのは地元と鹿角市と仙南だけで、他は高齢化が著しく不参加とのこと、かるた遊びのような伝統文化は後継者がいなければ滅びるだけです。その点、鹿角市や小野では子どもへの参加が多く敬服しました。

我が美郷町でも、子どもが百人一首に親しみ、その遊び方を覚え、友達や家族で楽しむようになるのは私の夢で終わるのでしょうか？

(生涯学習奨励員 高橋禮子)

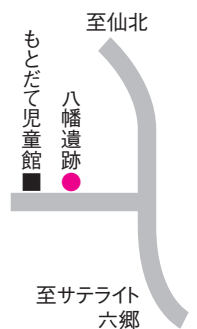


八幡遺跡は、もとだて児童館の周辺に位置しており、平成16年に行った試掘調査によつて発見された平安時代の遺跡です。遺跡の面積は、約三万五千㎡と推定されます。平成17年、ほ場整備事業(六郷西部地区)の実施に伴い、破壊される一部について発掘調査を行いました。

調査の結果、八幡遺跡の営まれた主な時期は8世紀後半頃に始まり、十和田a火山灰が降下した前までは存在していたものと推定されます。十和田a火山灰は915年に十和田火山から噴出した物で、土坑と呼ばれる掘られた穴や、旧河川跡から見つかりました。

調査区からは、土師器が埋められていたり、墨で文字が書かれた土師器や須恵器、須恵器を代用して使われた硯、明かりをともした焦げ跡が残る灯明皿、曲物と呼ばれる木製の木製台皿、斎串と呼ばれる木の枝や薄い板・細い角材を串状につくつて災いを除ける祓いの道具などが見つかりました。そのため、検出した土坑、旧河川跡から出土した遺物の内容から、水辺付近で祭祀行為が行われた可能性が高いと推定されています。

これまで、六郷地区は本格的に発掘調査がされておらず、特に丸子川(六郷)扇状地の扇端部にあたる六郷西部地区においては不明な部分が多くありました。そのため、今回の調査によつて、六郷地区における平安時代前半から中頃にかけての歴史の一部を知ることができました。



見つかった土坑と出土した8世紀後半のものと思われる土師器甕

文化財 探訪

No.5 八幡遺跡

短歌

軒下の小さき隙間に巣作りすつがいの雀出入り忙しき

金沢 斎藤 静子

年重ねお茶飲み友は我が宝昔話に花咲き笑う
吾が齢を越してほしいと祈りつつ古希の祝いに招かれしわれ

六郷 鈴木 久子

一斉に草刈機械作動させ出川添いの清掃はげむ

六郷 岩田 貞

演奏会娘は我と初共演田沢の濁に思い出残しぬ

金沢西根 小野寺龍治

逝きしひと千人を超えし「サルミ」浜香華手にして遺児らゆかんとす

鐘田 高橋 カネ

豪雨消えホッと一息待つ間無く炎暑が奪い老骨はごろ寝

浪花 田沢 正義

寝たきりの母にも足は二本ある余分に生きた余分な雨か

金沢 坂本浅次郎

こもごもに待合室は他人溢れ縮図の如しさばかれゆけり

六郷 藤本 昇

松島や五十一人一心とし御五大堂に深幸祈る

畑屋 本間 精一

俳句

メルヘンの彩雲描く青嶺かな

雨の中青空よりも濃い紫陽花

ギガンジューム切られ居場所が定まらず

紫陽花のこれ見よがしの雨上がり

溝立てや夕飯の卓の冷奴

姫百合の咲いて子の忌の近きかな

老妻とひたすら育てし実梅挽ぐ

清らかに可憐な驚草咲き誇る

百三十戸新一年生女児ひとり

清水湧く庭の荒れよう沙羅の花

川柳

孫の書に爺の出番と筆を取る

手を合わせたいただきますと弾む孫

梅雨時は洗濯物がババ泣かす

食事代誰が払うかがまんする

六郷東根

畑屋 煙山 善吉

六郷

熊谷 順子

六郷

奈良 松雪

飯詰

小林 耕次

六郷

高橋 周平

六郷

高橋 ゆき

六郷

杉山 信一

六郷

鈴木 栄子

金沢西根

加藤 省市

金沢西根

加藤 省市

中野

深澤 栄子

六郷

鈴木 ちよ

米町

入江 一步

千屋

戸澤 陽子

中野

深澤 栄子

六郷

鈴木 ちよ

千屋

戸澤 陽子

中野

深澤 栄子

六郷

鈴木 ちよ

六郷

鈴木 ちよ



「百合」
六郷 坂本 和子



天川 太陽ちゃん

(美郷町土崎/清孝さん・麻衣子さん)
お日様のように明るく大きく育ってネ。



斉藤 真央ちゃん

(美郷町野荒町/祐悦さん・奈智美さん)
明るく元気に育ってね。

募集

あなたの作品やお便りを募集します

あなたの作品やお便りなどを「広報美郷」の紙面で発表してみませんか。

【応募方法】次の①、②を記入のうえ、ご応募ください。

①作品(短歌、俳句、川柳、イラスト、お便りなど)

※短歌等は楷書で、漢字には読み仮名をお願いします。

②応募される方のお名前、ご住所、電話番号

【締め切り】8月16日(水)

【その他】・応募者が多数の場合は、掲載できない場合があります。作品は1点とします。

・作品の内容が広報掲載上好ましくないと町で判断した場合は掲載しません。

「美郷の赤ちゃん」を募集します

● あなたのかわいい赤ちゃんを「広報美郷」の紙面で紹介し、思い
● 出の1つとしませんか。

● なお、平成18年9月号では、平成18年7月に生まれた赤ちゃん
● の写真を募集します。

● 【応募方法】次の①、②をそろえてご応募ください。

● ①赤ちゃんが写っている写真(1枚)

● ※裏面にご両親と赤ちゃんのお名前、赤ちゃんの生年月日、
● ご住所、電話番号を記入すること。

● ※ご応募いただいた写真は、原則として返却しません。

● ②ご両親(ご家族)からのメッセージ(30字以内) ※様式は自由

● 【締め切り】8月16日(水)

【応募先】次のいずれかの場所にご応募ください。

● 役場(六郷庁舎)町長公室 ● 役場各庁舎の総合サービス課 ● 美郷町のメール(info@town.misato.akita.jp)